

講義名	レクリエーション論			授業形態	
担当教員	高橋 宏斗	開講期・曜日・時限		後期 木曜日 2 時限	
		単位数	2	履修開始年次	2 年生
主題と概要					
レクリエーション活動は、ゲームや歌、集団遊び、スポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードする」、「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」など対象や目的に合わせて行われる。その取り組みは介護や保育、教育、地域などさまざまな領域で活用されている。 本科目では、レクリエーションの主旨と手段、レクリエーション支援の目的と方法、レクリエーション・インストラクターの役割、レクリエーション活動がもたらす楽しさや心の元気づくり、良好な集団形成の仕組みについて学ぶ。また、アイスブレーキング演習を通して、レクリエーション支援プログラムの立案方法や実施するうえでのリスクマネジメントの視点について理解を深める。					
到達目標					
1. レクリエーションの目的と手段、レクリエーション支援の目的と方法、レクリエーション・インストラクターの役割が分かる。 2. レクリエーション活動がもたらす楽しさや信頼関係が築かれる心理的な仕組み、良好な集団が形成される仕組み、自主的、主体的に行動できるようになる仕組みが説明できるようになる。 3. レクリエーション支援プログラムの立案とその方法について理解し、対象者に合わせて提供できるようになる。					
提出課題					
レクリエーション事業の計画案 レクリエーション事業発表のふりかえりレポート					
課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法					
課題・レポート等は必要に応じて個別に返却し、解説する。					
評価の基準					
授業中の評価：出席数、授業に取り組む態度など・・・20％ 中間期の評価：演習計画書・・・10％、演習発表・・・10％ 期末期の評価：レポート課題・・・10％、筆記試験・・・50％					
履修にあたっての注意・助言他					
私語は構み授業中のマナーを守ること グループワークや演習においては、感染対策を常に意識しお互いを尊重し合い協力すること。 授業中のスマートフォン利用に関しては教員の指示により認める場合があるが、それ以外は使用を禁止する。					
教科書					
使用しない。					
参考図書					
なし。					

その他			
○プリント資料 必要に応じて配布する。 ○参考文献 「楽しさをとおした心の元気づくり」（公財）日本レクリエーション協会編（2017年） 「レクリエーション支援の基礎」（公財）日本レクリエーション協会編（2007年） 「楽しさの追及を支える理論と支援の方法」（公財）日本レクリエーション協会編（2013年） 三浦一朗，「アイスブレーキングゲーム集」（公財）日本レクリエーション協会（2002年）			
授業計画			
1. イントロダクション 予習内容：シラバスを見て、自分が興味を持った内容をまとめたうえで講義に出席すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
2. レクリエーション支援の社会的意義 予習内容：これまでに自分が参加したレクリエーション活動をふりかえり、メモ等にまとめておくこと（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
3. レクリエーション運動の歴史 予習内容：レクリエーションの歴史について調べ、予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
4. レクリエーション支援の制度 予習内容：レクリエーション指導者制度について調べ、予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
5. レクリエーション支援の価値と意味 予習内容：レクリエーション支援が行われている現場を調べ、その意義について予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
6. 様々な対象者へのレクリエーション支援（高齢者支援） 予習内容：超高齢社会の日本について調べ、そのレクリエーション支援について予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
7. 様々な対象者へのレクリエーション支援2（若者や地域別） 予習内容：少子化や過疎化等日本の情勢を調べ、予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
8. 信頼関係づくりの方法・ホスピタリティ 予習内容：ホスピタリティについて調べ、予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
9. 良好な集団作りの方法・アイスブレーキング 予習内容：アイスブレーキングについて調べ、予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
10. レクリエーション事業計画論 予習内容：各地で実施されるレクリエーション事業について調べ、予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
11. レクリエーション事業における安全管理 予習内容：レクリエーション事業における事故や、その要因を調べ予習すること（120分） 復習内容：講義資料の内容を整理・復習し、授業内容の理解を深めること（120分）			
12. 自主的・主体的に楽しむ力を育む理論（レクリエーション事業の計画） 予習内容：これまでの授業内容を確認し、レクリエーションについて理解を深めること（60分） 復習内容：グループで話し合いを深め、事業を再確認すること（180分）			
13. 自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法（相互作用の促進） 予習内容：これまでの授業内容を確認し、グループで予習すること（180分） 復習内容：グループで作成した模擬試験問題を実践すること（60分）			
14. 自主的・主体的に楽しむ力を育む理論（レクリエーション事業の展開） 自主的・主体的に楽しむ力を育むレクリエーション活動の展開法（CSSプロセス） 予習内容：グループで話し合いを深め、計画を完成させること（180分） 復習内容：他グループの計画を確認し、自らのグループの内容をさらに深めること（60分）			
授業形態（アクティブ・ラーニング）			
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	○	エ：グループワーク
○	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連			
本講義は、健康分野に関する基礎知識やコミュニケーション能力、リーダーシップ力の習得を到達目標としており、ディプロマポリシーの一部に貢献する科目である。			
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述			
実務経験の有無及び活用			
「実務経験あり」 教育現場や福祉現場においてレクリエーション指導経験のある教員が、ホスピタリティ・トレーニングやアイスブレーキングの技法を用いたコミュニケーション・ワークについて実例を交えて講義する。			
備考			
スポーツ健康コース所属学生履修推奨科目			